



未来を見据えた一貫教育で子どもの夢を応援

株式会社イナダ 奈良県桜井市

株式会社イナダが経営する稲田塾の活動の全ては、教育理念「We support your dreams.」(人に学び、人を育て、共に感動し、ともに成長する)に基づいている。

学力保証、密着指導、イベント・ツール、保護者へのサービスの4つの観点から指導システムの充実・実践を行い、高い学力を養成し人間教育を実践しながら、塾生の夢の実現(志望校合格)をサポートしている。

創業時は中学生だけを対象としていたが、現在は「キッズクラブ」から「大学受験部」まで、未来を見据えた一貫教育を行っている。塾生数は2001年3月に5,000名を越え、優秀な合格実績を誇る、奈良県を代表する進学塾へと躍進している。

会社概要



会社名：株式会社イナダ
本社：奈良県桜井市川合272-4
本部：大阪市天王寺区上汐4丁目5-26 イナダ上本町ビル10F
電話：06-4305-1719
FAX：06-4305-1139
創業：1978年3月
設立：1989年12月
代表者：代表取締役 稲田 隆人
資本金：3,800万円
従業員：525名(契約社員を含む)
事業：4歳～高校3年生までを対象とした学習指導
URL：<http://www.inadajuku.co.jp/>

英語の稲田塾から、奈良県を代表する進学塾へ躍進

株式会社イナダが経営する稲田塾は、前社長の稲田勝人氏が県内公立高校の教職を退き、1978年(昭和53年)3月に桜井で稲田塾を創業したのがはじまりである。長文読解と英作文を中心に英語を英語として捉える指導が強みで、創業当初は「英語の稲田塾」として評判が高かった。

勝人氏の教え方は超スパルタ教育と呼ばれる相当厳しいものであったが、同氏の熱い教えを受け継いだ卒業生が教師として参画するとともに、卒業生の進学実績や口コミなどから多数の優秀な塾生を集める好循環で成長を続けてきた。

塾生数は2001年3月に5,000名を越え、優秀な合格実績を誇る、奈良県を代表する進学塾へと躍進した。現在、教室は、大阪府3ヵ所、奈良県16ヵ所の19ヵ所となっている。

2010年入試合格速報【高校入試のみ記載】

- 公立高校
奈良県公立トップ3校に308名が合格(31年連続トップ)。奈良高校124名、畝傍高校106名、郡山高校78名で3校とも奈良県No.1の実績を誇る。
- 私立高校
灘5名(奈良県No.1)、東大寺学園18名(全国No.3)、西大和学園34名(全国No.2)、洛南33名(過去最高)。

創業時は中学生だけを対象としていたが、その対象を順次拡大し、現在は「キッズクラブ」(対象4歳～小2)から「大学受験部」(高1～高3)まで、未来を見据えた一貫教育を行っている。

「高校受験部」では、高校入試を見据えた学力の土壌作りをめざす「高校受験コース」(中1～中3)のほか、地元中学で活躍できる伸びる中学生の育成をめざす「ジュニアコース」(小5・6)や、灘、東大寺などを目標とする「最難関コース」を開講している。

また、2006年からは中学生専門の個別指導教室「パーソナルトレーナー」も開講した。



株式会社イナダの本社(桜井市：左)と同社本部(大阪市天王寺区：右)

2010年4月からは時代の変化に合わせ、子ども手当での有効活用にも最適な、新中学3年生限定の「英数コース」を全校舎で開講した。



授業風景

個別指導の様子

塾生の夢をサポートする指導システム

稲田塾の活動の全ては、教育理念「We support your dreams.」(人に学び、人を育て、共に感動し、ともに成長する)に基づいている。

高い学力を養成し人間教育を実践しながら、塾生の夢の実現(志望校合格)をサポートするため、学力保証^(*1)、密着指導^(*2)、イベント・ツール^(*3)、保護者へのサービス^(*4)の4つの観点から指導システムの充実・実践に努めている。

- *1: 達成度別クラス編成、オリジナル教材、カリキュラム、定期試験対策授業等
- *2: 日々の生活指導、安全対策、フォローアップシステム、三者懇談等
- *3: 夏季合宿(一日12時間の学習)や体験合宿、入試分析会、進学説明会等
- *4: 学年主任制度、保護者会、夢ゼミ等

夏季合宿 ▶



▲ オリジナル教材

体験合宿 ▶



数々の指導システムの中でも、塾生の学力、進度にぴったりの環境で学習できる「達成度別クラス編成」や、先進的な「カリキュラム」による学年の枠を越えた高度なレベルの学習、頻繁に行う教科ミーティングで開発される「オリジナル教材」、長年の実績を踏まえた的確な「進路指導」は、稲田塾の大きな強みであり、多数の塾生や保護者から強く支持される理由ともなっている。

日頃の授業以外に、ジュニアコースでの英語ス

ピーチコンテストや百人一首大会等も開催している。夏の体験合宿(2泊3日)は、小学4~6年生約200人が高知県で地引き網や農業の現場などを体験したり、地域の人々と触れ合ったりするもので人気イベントとなっている。

塾生は入試以外の分野でも大活躍している。とりわけキッズクラブでは、全国から5万点以上の作文等が応募される「朝日全国幼児作品コンクール」で2002年以降7年連続入賞(うち6年は金賞)し、2008年には異例の4名が金賞を受賞した。また、中学受験部では、1997年から中国の著名な福祉団体が主催する「少年数学世界大会」に参加しており、2005年に団体戦で6年生児童が優勝を果たした。

現社長の稲田隆人氏が「保護者の方の協力なくして塾は成り立ちません」と語っているように、稲田塾では保護者との情報交換や連携を大切にしている。懇談や保護者会のほかに、受験・親子関係などの悩みを保護者と教師が一体となって解決していく「夢ゼミ」を設けている。この夢ゼミの保護者アンケートで要望が大きかった、中学英語を学び直す大人向け講座「Sky Limit」が6月からスタートする。

日本の将来を担う、伸び代を持った人を育成

稲田塾では、塾生を伸ばすことを常に考え、その夢をサポートする教師の育成にも力を入れている。教師の力量などを客観的に把握する塾生・保護者向けアンケートや、塾生役の教師が他の教師の授業の様子を点数評価する模擬授業大会、教師によるスピーチコンテストなどを実施し、日々研鑽しあっている。また、授業風景をモニターできるWebカメラを全教室に設置しており、授業風景を他の教師が参考にすることもできる。

稲田塾では、子供たちに将来の教養につながる高い学力を身につけさせ、豊かな人格を持った大人へと育てることを目指しており、稲田社長も「日本の将来を背負っていける、伸び代しるを持った人材を育成していきたい」と熱い思いを語っている。

(島田清彦、丸尾尚史)